

# 第38回 県民総合スポーツ大会 第54回 埼玉県サッカー少年団大会

## 西部地区一次予選実施要項

1. 目的 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。
2. 主催 公益財団法人埼玉県スポーツ協会埼玉県スポーツ少年団/公益財団法人埼玉県サッカー協会
3. 共催 埼玉県／埼玉県教育委員会
4. 主管 埼玉県スポーツ少年団サッカーボーク会
5. 後援 テレ玉／埼玉新聞社／読売新聞さいたま支局
6. 運営 西部地区少年サッカー連絡協議会(川越入間北部地区・所沢入間南部地区・東松山比企地区)
7. 期日会場 9月15日(月祝) 予備日 9月20日(土)・21日(日)・27日(土)  
各地区会場
8. 参加資格
  - (1) 2025年度埼玉県スポーツ少年団に登録済のチームであること。
  - (2) 前(1)のチームに団員登録済の選手であり、13歳未満の小学生でスポーツ安全保険又は傷害保険に加入していること。
  - (3) 前(2)により当該単位団に登録済の選手は、本大会地区予選開始以降については、転校又は転居による場合を除き、他の単位団に移籍登録して参加することはできない。
  - (4) 次の要件のすべてを満たす単位団は、2チームの参加を認める。ただし、地区予選を勝ち抜いたチームが参加する中央大会は、11人制での開催になることを考慮して判断すること。
    - ① 17人以上の6年生を登録しそれぞれのチームに1人以上の6年生を登録すること
    - ② エントリー表に記載した選手は、地区予選終了までチーム間を移動しないこと
    - ③ エントリー表に記載する監督・役員(指導者)は、それぞれのチームを兼務しないこと
    - ④ それぞれのチームに有資格審判員を2人以上帯同できること
  - (5) 前(1)のチームであって、少人数等のため単独では参加できないチームの救済措置として、次のいずれかの条件を満たす場合に限り、合同チームでの参加を認める。ただし、いずれの条件においても、同一地区内であり、選抜チームでないこと。ただし、選抜チームは認めない。なお、合同チームで参加する場合は、チーム名を「●●●・●●●合同」とし、統一したユニフォームでエントリーすること。
    - ① 合同で参加する全てのチームの団員登録済の6年生が7人以下の場合は、合同するチーム数の制限は設けない
    - ② 合同で参加する一方のチームの団員登録済の6年生が7人以下の場合は、合同するチーム数は2チームまでとする
9. 参加資格の確認要領
  - (1) 地区予選運営責任者は、前8(2)の要領により参加申込チームの参加資格について確認す

る。疑義がある場合は直ちに埼玉県スポーツ少年団サッカーハンマー会長に報告する。(サッカーハンマー会の審査により参加の可否を決定する。)

- (2) 組み合わせ抽選前までに、参加申し込みチームのエントリー表及びスポーツ少年団登録システムからダウンロードした名簿(団名、団員一覧、指導者一覧)を照合して確認する。

## 10. 競技規則

日本サッカー協会競技規則 2024/25 及び 8 人制サッカー競技規則による。

## 11. 大会形式

リーグ戦並びにトーナメント戦による。(試合方法は各地区による)

- (1) リーグ戦の順位は、次により決定する。

- ① 勝ち点の多い順(勝ち点は勝者 3 点、引き分け 1 点、敗者 0 点)
- ② 得失点差の多い順
- ③ 得点の多い順
- ④ 両チームの対戦における勝者
- ⑤ なお決定しない場合で必要がある場合は、PK 戦(3 人)により決定する。

- (2) トーナメント戦で勝敗が決しない場合は、PK 戦(3 人)による。

## 12. 大会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールドは 68m×50m を基準、ゴールは 5m×2.15m とする。

- (2) 試合球は 4 号 JFA 検定球とする。

- (3) 競技者の数

- ① 1 チーム 8 人の競技者によって行い、競技者のうち 1 人はゴールキーパーとする。6 人以上で試合成立とする
- ② 退場者が出了した場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる
- ③ 交代要員の数は、12 人以内とする

- (4) ベンチ入りできる役員は、指導者として埼玉県スポーツ少年団に登録済の 2 人以上 5 人以下とする。ただし、監督を含む 2 人以上は、理念を学んだ指導者として登録済でなければならない。(役員・スタッフとして登録している者は、ベンチ入りできない。)

- (5) 競技者の用具・ユニフォーム

- ① 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを着用しなければならない。
- ② 本大会に登録した正・副 2 組のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。なお、正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
- ③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ④ 前③の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑤ 選手の用具の運用については、次のとおりとする。

- ソックスステープ等の色は問わない。
- アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
- ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっていても、主たる色が同色系であれば着用することができる。ただし、ビブス等は不可とする。

⑥ キャプテンが着用するアームバンドについては、つぎのとおりとする。

- フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須とする。
- アームバンドの代用としてテープなどを着用することができる。
- 市販のメーカーのロゴが入ったアームバンドの着用は認める。
- スローガン、メッセージの入ったアームバンドの着用は認めない。

⑦ ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。

(6) 試合時間は、40分（20分・5分・20分）とする。なお、天候により、競技時間内に飲水タイム又はクーリングブレイクを設ける。

(7) 選手交代

各試合のメンバー20人以内の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。

- ① 主審の承認を得ることなく、インプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
- ② ゴールキーパーの交代は、アウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。なお、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
- ③ ゴールキーパーとフィールドプレーヤーとの入れ替えは、アウトオブプレーになったときに、主審に通知し、承認を得て行うことができる。
- ④ 交代で退く球技者が負傷している場合は、主審の承認を得たうえでどこからフィールドを離れてもよい。

(8) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は、相手チームのゴールキックで再開する。

(9) フェアプレーに対し、積極的にグリーンカードを使用する。

13. その他

- (1) 要項・確認事項の各条項が守れない場合又は大会運営に対し不適切な行為等があった場合については、本大会のフェアプレー・規律委員会において審議する。（JFA 規律規程による。）
- (2) 競技場内での水以外の“スポーツドリンク”等の持ち込み及び摂取については、JFA 通達（2011.5.31）の趣旨に鑑み、使用会場と調整を図りその可否について決定すること。
- (3) 熱中症対策及び落雷事故防止対策については、埼玉県サッカー協会第4種委員会からの「各チーム活動における留意事項等のお願いについて（通知）（令和7年4月28日）」を基準に対応すること。
- (4) 新型コロナウィルス感染症拡大防止対策については、埼玉県U-12サッカー連盟ホームページに掲載の「サッカー活動にあたっての基本的な考え方」を参考として、引き続き十分な対応をとって活動すること。

- (5) 2 チーム参加のチームが中央大会に選出された場合、出場メンバーは地区予選メンバーに  
関係なく、自由に入れ替えができる。
- (6) 少年団登録の〆切り後（8月末以降）の転居について  
転居前のチームで少年団登録をしていれば、転居後のチームで出場は可能。この場合、転  
居前のチームから少年団登録の一覧を入手し確認する。（エントリー表提出時。）
14. 代 表 権 一次予選勝者 36 チーム（川越入間北部 18、所沢入間南部 14、東松山比企 4）が  
二次予選に進出する。

- 二次予選日程 10月 18日（土）19日（日）予備日 25日（土）・11月 1日（土）
- 代表者会議 10月 4日（土）午後 6時 00分～ やまぶき会館

## 確 認 事 項

1. 代表者および参加チーム義務事項
  - ① 参加チームの責任者は、第一試合開始 30 分前までに集合し、全試合終了まで会場運営に協力する。
  - ② 審判員は有資格者とし、担当する試合の開始 30 分前に審判服を着用の上本部前に集合し打合せを行い、義務を履行すること。※審判証の提示を義務付ける。
2. メンバー表の提出とユニフォームの確認について
  - ① 選手氏名は、交代選手を含めフルネームで記入すること。
  - ② 事前に配布した指定用紙を複写して、先発選手を記して試合開始 30 分前までに本部に 1 部提出すること。
  - ③ FP/GK とも登録された正副両方のユニフォームを試合開始 30 分前までに持参して主審または会場責任者が確認し、試合前に指示されたユニフォームを着用する。
3. ベンチ入り指導者等が当該試合において「不在」若しくは「空席」の場合の措置について
  - ① 当該チームが、試合開始前において、エントリー表に記載されたベンチ入り指導者等の全てが不在の時は、当該チームを『棄権』したものとする。
  - ② 試合中に指導者等が退席し、ベンチ入り指導者等が不在となった場合は、その時点において棄権（試合途中における棄権）とする。
  - ③ 前①・②の試合結果について、
    - (1) ①の場合は、相手チームに得点 3 を与え、自チームの得点を 0 とする。
    - (2) ②の場合は、試合の継続を中止した時点で、3 点以上の差で相手チームが優位の時は、その得点を当該試合の結果とし、それ以外の点差の場合は、前①の場合に準ずる。
4. ベンチ入り指導者等は、ベンチにおいて少年年代の指導者としてふさわしい態度・言動（指示）で臨むこと（喫煙・携帯電話の使用・カメラの使用・審判服着用での着席は禁止。戦術的指示は伝えることができるのは、テクニカルエリア内でその都度 1 名。）
5. 不正行為により退場（退席）を命じられた選手（指導者等）は次の 1 試合を出場停止とする。また、警告については累積 2 回の場合についても同様とする。中央大会までを同一大会と見なし、退場・退席は中央大会に持ち越す。地区予選終了時点で累積の警告は消滅し、中央大会には持ち越されない。
6. 試合中の会場付近でのボールの使用は禁止する。その他会場責任者の指示による。
7. 参加チームの責任者は会場に来たとき、及び帰るときは本部で受け付けをすること。
8. 煙草の吸殻・缶瓶等のゴミは、各チームで責任をもって持ち帰ること。
9. 車は最小限にすると共に、路上駐車等近隣住民、会場責任者等の迷惑にならないよう心掛けること。
10. 大会参加チームの指導者等は、棄権するときは、事前に対戦相手、会場責任者に連絡するなど大会の運営に協力すること。（審判については履行すること）
11. 営利目的、選手・スタッフの肖像権の侵害となる写真撮影及びビデオカメラやスマートフォン等による試合動画の撮影、インターネット配信、三脚等を含む大きな機材の使用又は他の観客の観戦、試合運営を妨げる撮影行為は禁止する。
12. 撮影については以下を遵守する。
  - ① 私的・目的以外での試合・観客等の写真・動画撮影及び撮影した写真・動画の複製は禁止する。
  - ② 写真・動画の全部又は一部について、インターネットその他のメディアを通じての配信は禁止する。
13. 上記事項は参加チームの責任において厳守するものとし、運営上会場責任者に迷惑をかけないようにす

ること。上記事項が守れないチームは本大会フェアープレー・規律委員会において懲罰について審議する。

14. 雨天の場合の開催については、午前 6 時 30 分に会場責任者と担当地区理事で決定する。参加チームは午前 6 時 30 分以降に各会場責任者に開催の有無を問い合わせる。

※ 少年団登録のみのチームのユニフォーム・審判等については、本部・対戦チームが柔軟な対応をお願いします

☆以上について参加される関係者・保護者に周知徹底をお願いいたします。